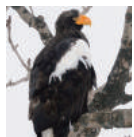


北宗谷地方のバードウォッチングの楽しみ方



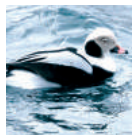
■オジロワシ・オオワシ

オジロワシ・オオワシは11月・3月に宗谷岬周辺でサハリンとの渡りが観察できます。増幌川流域は両種の中継地となっており、11-12月、3月の川が凍結していない期間に多くのワシが観察可能です。天塩から稚内にかけての海岸線には漂着物があると多くのオジロワシ・オオワシが集まります。道路沿いの観察の際には通行の妨げにならないよう配慮が必要です。



■ガン・ハクチョウ類

ヒシクイ、マガン、オオハクチョウ、コハクチョウの渡り期間は4月～5月上旬、9月中旬から10月中旬にかけてです。ガン類は主要なぐらである豊富町の兜沼・ベンケ沼・天塩町振老沼周辺の牧草地で観察できます。ハクチョウ類は主要なぐらである稚内市の大沼、猿払村のボロ沼、浜頓別町クッチャロ湖で観察できます。これらを結ぶ地域では時折上空を渡っていくのも観察できます。春にはサロベツで雪解け水により冠水している牧草地にガン・ハクチョウ類が集まります。牧草地周辺で観察する際には、牧草地に入らない、農業作業車の通行の邪魔にならないようにし、観察の際には鳥を驚かさぬよう配慮することが必要です。



■コオリガモ、カモ類

稚内の副港では12月から3月頃まで多いときには数十羽のコオリガモの群れを観察できます。このほか、シノリガモなどの海カモ類が観察でき、ピロードキンクロ、ウミガラス、ケイマフリが現れることがあります。港での観察の際には漁業関係者の作業の支障とならないようにすることが必要です。



■クマゲラ

クマゲラは利尻島の姫沼や甘露泉水、礼文島の香深井緑ヶ丘公園等の周辺の森林に生息しています。春から夏にかけての繁殖期には営巣木に近寄らないなど攪乱しないための配慮が必要です。



■シマアオジ・ツメナガセキレイ

シマアオジは豊富町のサロベツ湿原センターの木道で主に6月に観察されます。国内でもここでき観察できない絶滅危惧種ですので、観察の際には攪乱しないよう最大限の配慮が必要です。

ツメナガセキレイは稚内市メグマ沼湿原木道、浜頓別町ベニヤ原花園、幌延町幌延ビジターセンターの木道などで観察できます。周りを警戒しながら飛び回る場合は、近くに巣がある可能性があるため、長く滞在せず立ち去るなどの配慮が必要です。

施設のご紹介

●稚内市大沼野鳥観察館

〒097-0000 北海道稚内市大字声間村字声間原野
TEL:0162-26-2965
開館期間/1月29日～11月25日 ※ただし3月1日～24日まで休館
開館時間/9:00～17:00
休 館 日/期間中無休

●サロベツ湿原センター

〒098-4100 北海道天塩郡豊富町上サロベツ8662番地
TEL:0162-82-3232
開館/11月～ 4月⇒10:00～16:00 休館日/月曜日
5月～10月⇒ 9:00～17:00 休館日/なし
※ただし、6月、7月は、
開館時間/8:30～17:30となります。

●幌延ビジターセンター

〒098-3228 北海道天塩郡幌延町字下沼
TEL:01632-5-2077
開館期間/5～10月(期間中無休)
開館時間/9:00～17:00

●浜頓別クッチャロ湖水鳥観察館

〒098-5739 北海道枝幸郡浜頓別町クッチャロ湖畔
TEL:01634-2-2534
開館時間/9:00～17:00
休 館 日/月曜日、祝日の翌日、年末年始

●利尻町立博物館

〒097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町136
TEL:0163-85-1411
開館期間/5月1日～11月30日
開館時間/9:00～17:00
休 館 日/月曜日、祝日の翌日、7月・8月無休

ホームページの
ご紹介



お問い合わせ先

北宗谷広域観光推進協議会

事務局：一般社団法人 稚内観光協会内
〒097-0022 稚内市中央3丁目6-1 キタカラ1階
TEL:0162-24-1216 FAX:0162-24-0016
Eメール:info@welcome.wakkanai.hokkaido.jp

NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク

〒098-4122 北海道天塩郡豊富町字豊富東2条5丁目
TEL:0162-82-3950 FAX:0162-82-1009

北宗谷の野鳥観察

Birdwatching in KitaSoya



オオワシ(サロベツ・エコ・ネットワーク提供)



クマゲラ(村上賢治撮影)



チュウビ(サロベツ・エコ・ネットワーク提供)



ヒシクイ(長谷部真撮影)



ツメナガセキレイ



コオリガモ(長谷部真撮影)



ヤツガシラ(村上賢治撮影)



シマアオジ
(サロベツ・エコ・ネットワーク提供)

北宗谷広域観光推進協議会

種	春・秋	夏	冬
ハイロミズナギドリ	H	H	
ハシボソミズナギドリ	H	H	
ミツユビカモメ	H	H	H
トウゾクカモメ	H	H	
ウトウ		ABCGH	
ウミガラス・ケイマフリ			BCH
ウミスズメ	H		H
ヒロードキンクロ			BC
シノリガモ	G	G	BCFG
コオリガモ			B
タンチョウ		A	
オオハクチョウ	ABDE		
コハクチョウ	ABDE		
マガン	A		
ヒシクイ	A		

種	春・秋	夏	冬
アカエリカイツブリ		AG	
オオジシギ		ABDEFG	
オオワシ			ABCDEF
オジロワシ	ABCDEF	ABCDEF	ABCDEF
チュウヒ		ABDE	
ハイロチュウヒ	A		
ケアシノスリ	A		
コミズク			A
ヤツガシラ	FG		
アリスイ		AF	
クマゲラ	FG	DFG	FG
ツメナガセキレイ	G	ABD	
ミヤマカケス	ABCDEF	ABCDEF	ABCDEF
ホシガラス	FG	FG	
シマエナガ	ABCDEF	ABCDEF	ABCDEF

種	春・秋	夏	冬
シマセンニュウ		ABDEFG	
エゾセンニュウ		ABCDEF	
マキノセンニュウ		ABDE	
ヒレンジャク・キレンジャク	FG		
ノゴマ		ABCDEF	
コマドリ		ABCDEF	
コルリ		ABCDE	
ルリビタキ	FG	F	
ツメナガホオジロ	G		
ユキホオジロ	G		ABDE
ミヤマホオジロ	G		
シマアオジ		A	
クロジ		FG	
ベニヒワ	G		ABDE

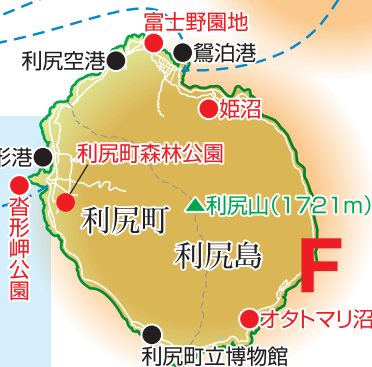
北宗谷野鳥観察エリア

宗谷地方は北海道からサハリンを経てロシアと結ぶ国際的に重要な鳥類の渡りの経路に位置します。宗谷海峡を境に西の日本海には利尻島と礼文島があり、南西部に海岸沿いにはサロベツ湿原があります。東のオホーツク海側の沿岸には猿払の湖沼やクッチャロ湖があります。これらの地域は海岸草原、湿原、湖沼など低地の環境が主体ですが、中央部には宗谷丘陵の森林があり、利尻島には標高1700mあまりの利尻山があり、礼文島の西部には断崖があります。



野鳥の渡り経路・中継地・繁殖地もある宗谷地方にはオジロワシ、オオワシ、タンチョウ、コハクチョウ、マガン、オオヒシクイ、オオジシギ、チュウヒ、ハイロチュウヒ、ケアシノスリ、クマゲラ、ツメナガセキレイ、シマアオジなどの重要種や、ウトウ、ヒロードキンクロ、シノリガモ、コオリガモ、アリスイ、ミヤマカケス、シマエナガ、シマセンニュウ、コマドリ、ノゴマ、コルリ、ユキホオジロ、ベニヒワなどを始めとした多様な鳥類が230種確認されています。利尻島・礼文島では春と秋の渡りの季節にヤツガシラなど珍鳥を含む多くの渡り鳥が通過します。

「北宗谷を野鳥と満喫!」



※地図上の赤字の地名は全て探鳥地です。

